

令和5年版厚生労働白書 正誤表

「令和5年版厚生労働白書」において、掲載内容に誤りがございました。ご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

なお、HP上に掲載されている内容につきましては、修正が反映されております。

頁	該当箇所	修正内容	
		誤	正
本文 216頁	20～ 21行目	是正指導件数は <u>9,037</u> 件、都道府県労働局長による紛争解決の援助件数は177件、機会均等調停会議による調停件数は <u>59</u> 件となっている。	是正指導件数は <u>9,223</u> 件、都道府県労働局長による紛争解決の援助件数は177件、機会均等調停会議による調停件数は <u>60</u> 件となっている。
本文 380頁	最終行	症状消失（無症候の場合は陽性となった <u>献血</u> の検体採取日）から4週間とすることを決定し、2021年9月より運用されている。	症状消失（無症候の場合は陽性となった <u>検査</u> の検体採取日）から4週間とすることを決定し、2021年9月より運用されている。
資料編 11頁	死亡数の推移	2021年の数値 <u>1,439,865人</u>	2021年の数値 <u>1,439,856人</u>

令和5年版厚生労働白書 正誤表

「令和5年版厚生労働白書」において、掲載内容に誤りがございました。ご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

なお、HP上に掲載されている内容につきましては、修正が反映されております。

頁	該当箇所	修正内容																																															
		誤			正																																												
資料編 87頁	詳細データ① 臓器移植法に基づく臓器移植の累計件数	詳細データ① 臓器移植法に基づく臓器移植の累計件数																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">臓器提供者数</th> <th colspan="2">移植実施件数</th> <th rowspan="2">移植希望登録者数</th> </tr> <tr> <th>うち脳死下</th> <th>うち脳死下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓</td> <td>737名</td> <td>736件</td> <td>736件</td> <td>895名</td> </tr> <tr> <td>肺</td> <td>639名</td> <td>788件</td> <td>788件</td> <td>534名</td> </tr> <tr> <td>肝臓</td> <td>778名</td> <td>833件</td> <td>833件</td> <td>331名</td> </tr> <tr> <td>腎臓</td> <td>2,344名</td> <td>847名</td> <td>1,659件</td> <td>14,155名</td> </tr> <tr> <td>脾臓</td> <td>505名</td> <td>501件</td> <td>498件</td> <td>174名</td> </tr> <tr> <td>小腸</td> <td>30名</td> <td>30件</td> <td>30件</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>眼球（角膜）</td> <td>22,240名</td> <td>378名</td> <td>36,036件</td> <td>706件</td> <td>1,922名</td> </tr> </tbody> </table>						臓器提供者数	移植実施件数		移植希望登録者数	うち脳死下	うち脳死下	心臓	737名	736件	736件	895名	肺	639名	788件	788件	534名	肝臓	778名	833件	833件	331名	腎臓	2,344名	847名	1,659件	14,155名	脾臓	505名	501件	498件	174名	小腸	30名	30件	30件	9名	眼球（角膜）	22,240名	378名	36,036件	706件	1,922名
	臓器提供者数	移植実施件数		移植希望登録者数																																													
		うち脳死下	うち脳死下																																														
心臓	737名	736件	736件	895名																																													
肺	639名	788件	788件	534名																																													
肝臓	778名	833件	833件	331名																																													
腎臓	2,344名	847名	1,659件	14,155名																																													
脾臓	505名	501件	498件	174名																																													
小腸	30名	30件	30件	9名																																													
眼球（角膜）	22,240名	378名	36,036件	706件	1,922名																																												
資料編 102頁	食品安全行政の展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 都道府県、保健所設置市、特別区 (47都道府県) (20政令市、62中核市、その他5) (23特別区) (食品衛生監視員8,327名) </div>																																															
資料編 102頁	食品安全行政の展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 食品等事業者 (1) 飲食店営業等の営業許可を要する施設 1,980,128施設 (2) 営業届出をする施設 <u>663,857</u>施設 </div>																																															
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 都道府県、保健所設置市、特別区 (47都道府県) (20政令市、62中核市、その他5) (23特別区) (食品衛生監視員8,442名) </div>																																															
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 食品等事業者 (1) 飲食店営業等の営業許可を要する施設 1,980,128施設 (2) 営業届出をする施設 <u>654,478</u>施設 </div>																																															

頁	該当箇所	修正内容																																																																																																	
		誤	正																																																																																																
本文 227頁	15~17行目	<p>また、新規求職申込件数は<u>223,985</u>件（前年度比5.7%増）であった。このうち、身体障害者は<u>58,033</u>件（前年度比0.6%増）、知的障害者は<u>34,651</u>件（前年度比1.0%増）、精神障害者は<u>108,251</u>件（前年度比13.5%増）、その他の障害者は<u>23,050</u>件（前年度比6.1%減）であった。</p>	<p>また、新規求職申込件数は<u>223,971</u>件（前年度比5.7%増）であった。このうち、身体障害者は<u>58,032</u>件（前年度比0.6%増）、知的障害者は<u>34,651</u>件（前年度比1.0%増）、精神障害者は<u>108,243</u>件（前年度比13.5%増）、その他の障害者は<u>23,045</u>件（前年度比6.1%減）であった。</p>																																																																																																
本文 148頁	6~9行目	<p>また、<u>2017</u>（平成29）年に発表された国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」によると、現在の傾向が続ければ、2070年には、我が国的人口は8,700万人となり、1年間に生まれる子どもの数は現在の半分程度の約50万人となり、高齢化率は約39%に達するという厳しい見通しが示されている（図表1-1-1）。</p>	<p>また、<u>2023</u>（令和5）年に発表された国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」によると、現在の傾向が続ければ、2070年には、我が国的人口は8,700万人となり、1年間に生まれる子どもの数は現在の半分程度の約50万人となり、高齢化率は約39%に達するという厳しい見通しが示されている（図表1-1-1）。</p>																																																																																																
本文 166頁	図表1-8-2	<p>図表1-8-2 第1子出生年別にみた、第1子出産前後の妻の就業変化</p> <table border="1"> <caption>図表1-8-2の主なデータ (%)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>就業継続(育休利用)</th> <th>就業継続(育休なし)</th> <th>出産退職</th> <th>妊娠前から無職</th> <th>不詳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1985-89</td><td>5.5</td><td>18.4</td><td>37.4</td><td>35.3</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>1990-94</td><td>8.1</td><td>16.3</td><td>37.7</td><td>33.6</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>1995-99</td><td>11.2</td><td>13.0</td><td>39.3</td><td>31.3</td><td>5.2</td></tr> <tr><td>2000-04</td><td>15.3</td><td>12.2</td><td>40.3</td><td>26.9</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>2005-09</td><td>21.1</td><td>10.2</td><td>40.8</td><td>22.3</td><td>5.6</td></tr> <tr><td>2010-14</td><td>31.6</td><td>10.8</td><td>31.1</td><td>21.2</td><td>5.2</td></tr> <tr><td>2015-19</td><td>42.6</td><td>11.2</td><td>23.6</td><td>17.4</td><td>5.2</td></tr> </tbody> </table> <p>資料：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査（夫婦調査）」 （※）（ ）内は出産前有職者を100として、出産後の継続就業者の割合を算出</p>	年	就業継続(育休利用)	就業継続(育休なし)	出産退職	妊娠前から無職	不詳	1985-89	5.5	18.4	37.4	35.3	3.3	1990-94	8.1	16.3	37.7	33.6	4.3	1995-99	11.2	13.0	39.3	31.3	5.2	2000-04	15.3	12.2	40.3	26.9	5.3	2005-09	21.1	10.2	40.8	22.3	5.6	2010-14	31.6	10.8	31.1	21.2	5.2	2015-19	42.6	11.2	23.6	17.4	5.2	<p>図表1-8-2 第1子出生年別にみた、第1子出産前後の妻の就業変化</p> <table border="1"> <caption>図表1-8-2の主なデータ (%)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>就業継続(育休利用)</th> <th>就業継続(育休なし)</th> <th>出産退職</th> <th>妊娠前から無職</th> <th>不詳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1985-89</td><td>5.5</td><td>18.4</td><td>37.4</td><td>35.3</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>1990-94</td><td>8.1</td><td>16.3</td><td>37.7</td><td>33.6</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>1995-99</td><td>11.2</td><td>13.0</td><td>39.3</td><td>31.3</td><td>5.2</td></tr> <tr><td>2000-04</td><td>15.3</td><td>12.2</td><td>40.3</td><td>26.9</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>2005-09</td><td>21.1</td><td>10.2</td><td>40.8</td><td>22.3</td><td>5.6</td></tr> <tr><td>2010-14</td><td>31.6</td><td>10.8</td><td>31.1</td><td>21.2</td><td>5.2</td></tr> <tr><td>2015-19</td><td>42.6</td><td>11.2</td><td>23.6</td><td>17.4</td><td>5.2</td></tr> </tbody> </table> <p>資料：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査（夫婦調査）」 （※）（ ）内は出産前有職者を100として、出産後の継続就業者の割合を算出</p>	年	就業継続(育休利用)	就業継続(育休なし)	出産退職	妊娠前から無職	不詳	1985-89	5.5	18.4	37.4	35.3	3.3	1990-94	8.1	16.3	37.7	33.6	4.3	1995-99	11.2	13.0	39.3	31.3	5.2	2000-04	15.3	12.2	40.3	26.9	5.3	2005-09	21.1	10.2	40.8	22.3	5.6	2010-14	31.6	10.8	31.1	21.2	5.2	2015-19	42.6	11.2	23.6	17.4	5.2
年	就業継続(育休利用)	就業継続(育休なし)	出産退職	妊娠前から無職	不詳																																																																																														
1985-89	5.5	18.4	37.4	35.3	3.3																																																																																														
1990-94	8.1	16.3	37.7	33.6	4.3																																																																																														
1995-99	11.2	13.0	39.3	31.3	5.2																																																																																														
2000-04	15.3	12.2	40.3	26.9	5.3																																																																																														
2005-09	21.1	10.2	40.8	22.3	5.6																																																																																														
2010-14	31.6	10.8	31.1	21.2	5.2																																																																																														
2015-19	42.6	11.2	23.6	17.4	5.2																																																																																														
年	就業継続(育休利用)	就業継続(育休なし)	出産退職	妊娠前から無職	不詳																																																																																														
1985-89	5.5	18.4	37.4	35.3	3.3																																																																																														
1990-94	8.1	16.3	37.7	33.6	4.3																																																																																														
1995-99	11.2	13.0	39.3	31.3	5.2																																																																																														
2000-04	15.3	12.2	40.3	26.9	5.3																																																																																														
2005-09	21.1	10.2	40.8	22.3	5.6																																																																																														
2010-14	31.6	10.8	31.1	21.2	5.2																																																																																														
2015-19	42.6	11.2	23.6	17.4	5.2																																																																																														

